

令和元年度(平成31年度) 事業報告

〈令和元年度西区社会福祉協議会の取組〉

令和元年度は、地域における福祉課題や社会的孤立等の課題解決に向けた地域支援及び地区社協支援の充実、生活支援体制整備事業等に積極的に取り組みました。

また、西区地域福祉保健計画(にこまちプラン)の着実な推進を支援するとともに、各種別分科会等を通じ広く意見聴取を行い、次期計画策定準備を区役所・関係機関とともに進めました。

更に、事業経費の検証等を行い、持続可能な財政の健全化に向けた見直しを図るとともに、コンプライアンスなど組織運営基盤の充実・強化に取り組みました。

I 地域における支え合いの仕組みづくりの支援 (重点項目)

1 生活支援体制整備事業の推進

地域包括ケアシステムの構築に向け、区役所や地域ケアプラザとともに、「誰もが住み慣れた地域で生きがいや役割を持ちながらいきいきと暮らし続けられるよう、地域、NPO、社会福祉法人、民間企業等の多様な主体が連携・協力した地域づくり」を目指しました。

(1) 第2層生活支援コーディネーターとの連携及び支援

①西区生活支援コーディネーター連絡会の実施

各地区や地域ケアプラザ内での進捗状況確認並びに区域での連携した地域づくりに向けて検討しました。

日 程： 原則毎月第2水曜日(年12回)

場 所： 西区福祉保健活動拠点「フクシア」

参加者：生活支援コーディネーター、区役所職員

内 容： 生活支援体制整備事業推進のための情報共有や意見交換

②第2層協議体への出席

各地域ケアプラザでの課題解決に向けた検討会や新たな資源開発に向けた協議体等に参加しました。

9事業 計38回

(2) 第1層生活支援コーディネーターの取り組みについて

①事業推進に向けた地域ケアプラザ・区役所との協働

以下の会議の運営に携わりました。また、地域ケアプラザにおいて全職種で連携し事業推進するため、地域ケアプラザ版推進会議に参加協力しました。

1)区レベル推進会議の開催 2回

2)各地域ケアプラザレベル推進会議への参加 12回

3)市レベル推進会議への出席 12回

4)第1層コーディネーター連絡会への出席 12回

②介護予防・生活支援サービス補助事業の支援

1)運営団体の支援

状況の把握と活動推進に向けて、運営団体と関係機関で検討を行いました。

| | 第1回 | 第2回 |
|-------|-----------------------------|----------------------------|
| 日時・場所 | 6月10日(月)・西役所 | 1月9日(木)・西区役所 |
| 参加者 | ばあばの家あさだ、区、区社協、地域ケアプラザ 計10名 | ばあばの家あさだ、区、区社協、地域ケアプラザ 計9名 |
| 内容 | 現状・課題の共有・今後の推進に向けて | 取組状況の振り返り・今後の推進に向けて |

2)事業申請に向けた相談対応等

区・地域ケアプラザと共に事業説明・申請に向けた検討を行いました。

団体数： 2団体

打合せ回数： 5回

③“つながり”が生み出す にこやかな暮らし～身近な地域の取組紹介～開催

体制整備事業として新たに立ち上がった3つの取組事例の紹介を通し、広く地域に周知し新たな資源開発につなげるきっかけづくりとして開催しました。

日にち： 12月2日(月)

場 所： 西公会堂会議室

講 師： 菱沼幹男氏(日本社会事業大学社会福祉学部准教授)

内 容： 導入講話

取組紹介

①認知症カフェ「あずまカフェ」

②三ツ沢ハイタウン福祉会

③ばあばの家あさだ

生活支援コーディネーター紹介

主催・共催： 区社協・区役所・区内地域ケアプラザ

参加者： 85名



④横浜シニア大学一般講座への開催協力、講師としての職員派遣

講義やワークを通して、つながりの大切さを伝えました。

日にち： 9月10日(火)

場 所： 老人福祉センター野毛山荘

内 容： テーマ「つながりde心豊かな毎日」

講 師： 区社協職員、地域ケアプラザ職員 5名

参加者： 20名

(3)社会福祉施設等との連携

社会福祉施設を対象とした研修及び連絡会議の開催

日にち： 3月19日(木)

場 所： 西区福祉保健活動拠点「フクシア」

内 容： <第1部：連絡会> 社会福祉施設の地域貢献についての情報交換

<第2部：研修会> テーマ：「パワーハラスメント対策について」

講 師： かながわ労働センター

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(4)生活支援コーディネーター業務の可視化・行動分析について

コーディネーターの役割や活動を見える化するため、地域ケアプラザと共に平成28年度から30年度まで取り組みを行った西区共通書式の行動記録作成について、学識経験者に行動記録の分析を依頼し、事例集として発行しました。



2 身近な地域のつながり・ささえあい活動推進事業の推進

全職員がコミュニティソーシャルワークの視点で個別課題の発見と地域支援体制づくりを目指して業務に取り組みました。また、地域ケア会議へ参加し、地域ケアプラザや区と共に課題共有や解決に向けて取り組みました。

(1) 個別ケースの発見と対応

区社協が行う個別支援事業(あんしんセンター、生活福祉資金、ボランティア、送迎、移動情報センター)では他業務担当や地区担当との連携により、困難を抱えた方の課題解決に向け取り組みました。

また、地域包括支援センター定例カンファレンスや地域ケア会議等に出席し把握した困難ケースについて、職員会議等で年間を通じて随時協議を行いました。

3 地区社協活動の推進支援

地域福祉活動の中核を担う地区社協が地域の様々な活動団体の協議体としての役割を発揮し、地域課題の解決に向けた活動が展開できるよう、地区社協の組織運営や活動の支援、研修、助成を行いました。

(1) 地区社協活動の運営・活動支援

①地区社協研修の実施

1) 地区社協研修会 [区社協主催研修]

地区社協の体制強化や活動の充実に向けて、つぎの研修を開催しました。

| 月日 | 内 容 | 人数 |
|--------------------|--|-------------------|
| 11月8日(金) | 【地区社協視察研修】 ～地域共生社会の実現に向けて～ 〈視察先〉 ・障害者支援施設ころみ学園 ・ワイン醸造場「ココ・ファーム・ワイナリー」 〈内 容〉 ・社会福祉法人ころみ会の施設長の講話 (園生の生活やワイナリーの立ち上げの歴史等) ・ワイン醸造場の説明と見学 | 地区社協など 26名 |
| 1月23日(木) 「フクシア」 | 【地区社協分科会・にこまちライブプロジェクト合同研修】 ～地域で子どもの居場所を支えるために出来ることは何か～ 〈講師〉: ずしO円食堂 代表 草柳ゆきゑ氏・服部誠氏 〈内容〉 ・活動紹介 ・グループワーク・発表・まとめ | 地区社協、町内会 他 33名 |



2) 第5回よこはま地域福祉フォーラム [市社協との共催研修]

横浜市社会福祉協議会及び18区社会福祉協議会で共催し、地区社協関係者等に参加を依頼しました。

| 月日・場所 | 内 容 | 人数 |
|-------------------|---|------------------|
| 1月30日(木) 関内ホール | テーマ:「おたがいさま」の縁づくり～育まれる縁～ 【全体会】 基調講演「ひとりぼっちにしないまちづくり」 講師:幸重 忠孝氏(こどもソーシャルワークセンター所長) 【分科会】 第1:身近な地域で育まれる縁 第2:縁でつながるまちづくり | 全体参加者数 1,458名 |

3) よこはまの地区社協全体会(地区社協研修) [市社協との共催研修]

| 月日・場所 | 内 容 | 人数 |
|-----------------------|--|------------------------|
| 3月5日(木) 鶴見区民文化センター | 【講演】『我が事・丸ごと』地域共生社会の実現に向けて 講師: 後藤 真一郎氏 (全国社会福祉協議会 中央福祉学院 副部長) 【事例発表】 第1:神奈川区神西地区社協 第2:港南区永谷地区社協 | * 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 |

4) にこまち講座への参加

区との共催講座(西区地域福祉保健計画(にこまちプラン)に係る講座)を地区社協研修と位置づけ、地区社協役員等に参加を依頼しました。

| 月日・場所 | 内 容 | 人数 |
|-----------------|--|----------------------------|
| 9月28(土) 西公会堂 | にこまち講座「みんなが主役のまちづくり」 映画上映/ 講演会・シンポジウム | 全体参加者数 242名 (地区社協含む) |

②地区社協活動費の交付・助成

地区社協活動の充実に向け、安定した財源を確保するために助成金を交付しました。

<地区社協助成金>

| 項 目 | 内 容 | 財源 |
|----------------------|--|-------------------------------|
| 【活動運営費】 | 300 千円 6地区 210 千円 6地区 457 千円 6地区 | 市社協補助金 共同募金配分金 賛助会費還元金 |
| 【活動事業費】 | 地区社協事業 1,800 千円 6地区 親子ふれあい会事業 111 千円 3地区 高齢者見守り活動交流会 18 千円 2地区 | 共同募金配分金 共同募金配分金 共同募金配分金 |
| 【小地域活動応援金】 | 900 千円 6地区 | 善意銀行配分金 |
| 【年末たすけあい募金配分】 | 900 千円 6地区 | 年末たすけあい募金助成配分 |

③地区アセスメントシートの活用

地区社協支援に向け、地区ごとの社会資源や情報を集約したデータを更新し、区・地域ケアプラザと共有・活用しました。

(2) 地区社協分科会の開催

地区社協の体制強化や活動の充実に向け、地区社協会長・地区社協事務局長等を対象とした分科会を開催し、地区社協間の情報交換や課題検討等を行いました。18区の地区社協代表者で集い、地区社協活動の活性化に向けて話し合う場「地区社協検討会」と連動し分科会活動を進めました。（詳細はP30）



4 地域ケアシステムの推進支援

(1) 地域ケア会議への参加

各地域ケアプラザで開催された地域ケア会議に出席し、具体的対応についてのケース検討を行いました。
【身近な地域のつながり・支えあい活動推進事業へも記載】

| 開催ケアプラザ | 月日 | 内容 | 出席職員数 |
|----------------|-----------|---------------|-------|
| 浅間台 地域ケアプラザ | 5月27日(月) | 地域ケア会議(個別レベル) | 1名 |
| | 8月19日(月) | 地域ケア会議(包括レベル) | 1名 |
| 宮崎 地域ケアプラザ | 1月30日(木) | 地域ケア会議(個別レベル) | 1名 |
| | 2月10日(月) | 地域ケア会議(包括レベル) | 1名 |
| 藤棚 地域ケアプラザ | 1月21日(火) | 地域ケア会議(包括レベル) | 1名 |
| | 2月18日(火) | 地域ケア会議(包括レベル) | 1名 |
| 区役所 | 11月20日(水) | 地域ケア会議(区レベル) | 2名 |

(2) 地域ケアプラザとの連携

① 地域活動交流コーディネーター連絡会の開催

地域ケアプラザと連携した地域支援を進めていくために、地域活動交流コーディネーター連絡会を開催し、地域情報等の共有や情報交換などを行いました。

| 月日・場所 | 内容 | 人数 |
|-------------------------|--|----|
| 4月24日(水) 西区役所 | ○本年度の連絡会の進め方について ○共催事業「ケアぷらっと歩こう一万歩」について ○にこまちプランの推進に向けて(にこまちこども応援団について) ○市地域交流研究部会報告 | 7名 |
| 5月24日(金) 藤棚地域ケアプラザ | ○共催事業「ケアぷらっと歩こう一万歩」について ○にこまちこども応援団について ○コーディネーター研修について ○市地域交流研究部会報告 | 8名 |
| 6月21日(金) 西区役所 | ○グラフィックレコード研修 ○共催事業「ケアぷらっと歩こう一万歩」について ○にこまちこども応援団について | 8名 |
| 7月26日(金) 戸部本町地域ケアプラザ | ○グラフィックレコード研修ふりかえり ○共催事業「ケアぷらっと歩こう一万歩」について ○第3期にこまちプランについて | 9名 |

| | | |
|----------------------------------|--|-----|
| | ①ふりかえり ②子ども向け啓発事業 ○移動情報センターについて | |
| 8月23日(金) 藤棚地域ケアプラザ | ○共催事業「ケアぷらっと歩こう一万歩」について ○地域情報共有(にしきシティガイドグループ等) ○第3期にこまちプランについて ○コーディネーター研修について | 6名 |
| 9月20日(金) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」 | ○コーディネーター研修「グラフィックレコード研修」 ○ふりかえり | 12名 |
| 10月25日(金) 浅間台地域ケアプラザ | ○共催事業「ケアぷらっと歩こう一万歩」について 講師打合せ ○第3期にこまちプランについて ①ふりかえりシート ②にこまちフォーラムについて ○ボランティア講座について | 9名 |
| 11月22日(金) 宮崎地域ケアプラザ | ○共催事業「ケアぷらっと歩こう一万歩」について ○にこまちフォーラムについて ○ボランティア講座について | 9名 |
| 12月20日(金) 戸部本町地域ケアプラザ | ○共催事業「ケアぷらっと歩こう一万歩」ふりかえり ○サブコーディネーター研修について ○にこまちプランふりかえり報告について ○ボランティア講座について | 9名 |
| 1月24日(金) ハマノ愛生園会議室 | ○サブコーディネーター研修について ○にこまちフォーラムについて ○情報提供:R2 年度ボランティア保険/ふれあい助成金 ○市地域交流研究部会報告 | 8名 |
| 3月27日(金) 藤棚地域ケアプラザ | ○サブコーディネーター研修振返りについて ○第4期にこまちプランについて ①にこまち子ども応援団 ②区域計画への取り組み ○助成金情報 ○次年度の地域活動交流連絡会のあり方について | 7名 |



②地域ケアプラザサブコーディネーター研修の開催

地域活動交流部門のスキルアップと、区内地域ケアプラザ間の連携や交流を目的に開催しました。

| 月日・場所 | 内容 | 人数 |
|-------------------------|---|-----|
| 1月29日(水) 戸部本町地域ケアプラザ | ○事業に役立つレクリエーション・脳トレプログラム 講師: 宮腰 勝家 氏 (横浜市高齢者体操・レクリエーション指導員) ○グループワーク | 23名 |

③地域ケアプラザ所長会への参加

区役所、区社協、地域ケアプラザとの情報交換を目的とした西区地域ケアプラザ所長会に事務局長が参加しました。(年6回)

Ⅱ ボランティア活動の推進・支援(重点項目)

1 ボランティア活動に関する相談・登録・調整・情報提供

(1) ボランティア相談・登録・調整

ボランティアを必要としている方とボランティア活動をしたい方からの相談を受け、相互の調整を図りました。活動後に双方へ聞き取りを行い、継続的な依頼・活動につなげました。

① ボランティア登録

ボランティア活動を希望する個人及びグループに登録を依頼し、ボランティア講座の情報提供やニーズ紹介を行いました。

| | 個人(人) | | | ボランティアグループ | |
|------------------|-------|-----|-----|------------|------|
| | 男性 | 女性 | 計 | グループ数 | 人数 |
| 新規登録者(R元) | 21 | 30 | 51 | 9 | 120 |
| 前年度新規登録者 | 16 | 24 | 40 | 11 | 46 |
| 累計 (R2年3月末現在) | 91 | 108 | 199 | 116 | 2254 |

② 単発依頼

| | 依頼 件数 | 紹介 件数 | 調整中 | 調整 つかず | 取り下げ | 紹介 人数 | 調整数 | 対応率 | 前年度 対応率 |
|-------|----------|----------|-----|-----------|------|----------|-----|------|------------|
| 児童 | 7 | 5 | 0 | 0 | 1 | 18 | 23 | 71% | 83% |
| 障害 | 13 | 8 | 0 | 2 | 3 | 32 | 94 | 62% | 88% |
| 高齢 | 128 | 115 | 4 | 4 | 3 | 213 | 154 | 90% | 90% |
| 外国人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - |
| 限定せず | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 100% | 92% |
| その他 | 8 | 7 | 0 | 0 | 0 | 15 | 27 | 88% | 100% |
| R元合計 | 157 | 136 | 4 | 6 | 7 | 278 | 298 | 85% | 90% |
| H30合計 | 136 | 119 | 3 | 5 | 8 | 319 | 278 | | |
| 比較増減 | 21 | 17 | 1 | 1 | △1 | △41 | 20 | | |

③ 継続依頼

| | 依頼 件数 | 紹介 件数 | 調整中 | 調整 つかず | 取り下げ | 紹介 人数 | 調整数 | 対応率 | 前年度 対応率 |
|-------|----------|----------|-----|-----------|------|----------|-----|-----|------------|
| 児童 | 3 | 1 | 2 | 0 | 0 | 1 | 2 | 33% | 57% |
| 障害 | 20 | 10 | 8 | 2 | 0 | 15 | 77 | 50% | 58% |
| 高齢 | 12 | 9 | 3 | 0 | 0 | 48 | 34 | 75% | 75% |
| 外国人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - |
| 限定せず | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 11 | 50% | 75% |
| その他 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0% | - |
| R元合計 | 38 | 21 | 13 | 2 | 1 | 65 | 124 | 55% | 67% |
| H30合計 | 39 | 26 | 7 | 1 | 5 | 87 | 127 | | |
| 比較増減 | △1 | △5 | 3 | 1 | △4 | △22 | △3 | | |

(2) ボランティアニーズの把握

ボランティア活動を希望する方への情報提供のため、地域ケアプラザや特別養護老人ホーム等にボランティア募集状況等の聞き取りを行いました。

(3) ボランティアセンター情報の発信

ボランティア活動に関する情報をまとめ提供(発信)しました。

| | |
|-----------------------------|---|
| 区社協広報紙 「もくせい」 | 区民に福祉への理解や関心を深めるため、区社協事業や地域福祉活動・ボランティア活動を紹介しました。 年3回発行、各43,500部。タウンニュース紙面上に掲載。その他関係機関に送付。 |
| 西区ボランティアセンターニュース 「花スイセン」 | ボランティア募集情報やボランティア各種講座のお知らせ、ボランティア団体の活動紹介などを掲載しました。 年4回発行、各900部。登録ボランティア及びその他関係機関、区社協会員に送付。 |
| ホームページ | ホームページ内で、ボランティアニーズ情報、講座・イベント情報の専用ページを設け、ボランティア募集や助成金の案内など随時最新情報を掲載しました。 |
| 芸達者ボランティア紹介チラシ | 特技をお持ちのボランティア紹介チラシを作成し、区内地域ケアプラザ・民間デイサービス事業所等 20 か所に配布・PRしました。 |

2 ボランティア・市民活動への育成・支援

(1) ボランティア活動者の育成

① ボランティア活動についての啓発

ボランティア活動・地域活動への参加を促すことを目的に簡単な説明を行いました。

| 月日・場所 | 内容 | 人数 |
|----------------------------------|--|-----|
| 8月17日(土) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」 | 『元気なうちから介護予防』というテーマで、「介護予防のすすめ」と「いろいろなボランティア活動について」説明。 相談先としてボランティアセンターや地域ケアプラザを紹介。 | 24名 |

② ハマのオヤジゼミナールの開催

退職後またはこれから定年を迎える男性などを対象に、地域での仲間づくりやボランティア活動へつながるきっかけづくりとして、導入編の講座を開催しました。

「ちよこっとボランティア入門講座」

| 月日・場所 | 内容 | 人数 |
|-----------------------------------|--|-----|
| 11月17日(日) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」 | 【講義】「充実したボランティア活動のために」 講師:長橋 輝明 氏(キャリア・コンサルタント/産業カウンセラー) 内容:ボランティア活動の必要性や楽しさ、いきがいづくりについて | 8名 |
| 11月27日(水) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」 | 【講義】「ボランティアのスキルを学ぶ～聴き上手 講座」 講師:長橋 輝明 氏(キャリア・コンサルタント/産業カウンセラー) 内容:講義とワークを織り交ぜて傾聴のテクニックを学ぶ | 12名 |

(2) ボランティア活動者の支援

① 『ボランティア交流会』

コーディネートをより円滑に行うため、コーディネーターとボランティアとの意見交換・関係づくりを目的に実施

| 月日・場所 | 内容 | 人数 |
|----------------------------------|--|-----|
| 4月20日(土) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」 | 内容: ボランティア登録者とボランティアセンター担当職員及び管理職を交えた交流座談会・コミュニケーションゲーム、意見交換 | 14名 |

② 『救急法入門』

ボランティア分科会メンバーを対象に「ミニ学習会」として実施

| 月日・場所 | 内 容 | 人数 |
|-----------------------------------|-----------------------------|-----|
| 10月28日(月) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」 | 内容：救急通報時の心構え、胸骨圧迫法、AED の使用法 | 24名 |

③ 『ボランティアの学び舎シリーズ』

ボランティア活動者等のスキルアップを目的に企画しました。

| 月日・場所 | 内 容 | 人数 |
|---------------------------------|-------------------|-----------------------|
| 3月7日(土) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」 | 内容：「認知症サポーター養成講座」 | *新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 |

④ ボランティア活動保険等の受付

安心してボランティア活動が行えるよう、ボランティア関係の保険についてご案内と受付を行いました。

| 保険名 | ボランティア活動保険 | ボランティア活動 行事用保険 | 福祉サービス総合補償 |
|-----------|--------------------|-------------------|------------|
| R元年度(件数) | 115 (うち天災プラン35) | 229 | 5 |
| H30年度(件数) | 145 (うち天災プラン53) | 243 | 6 |
| 比較増△減 | △30 | △14 | △1 |

(3) フードドライブ活動(食料支援)の推進

まだ食べられるのに、いろいろな理由で処分されてしまう食品を、『たべもの』に困っている人や団体に届ける

「フードドライブ」活動を実施しました。

| 寄附受付期間 | 寄付件数 | 配分団体数 | 主な配分先 |
|------------------|-----------|-------|--|
| 第1回：7月1日～7月15日 | 18件(103点) | 14団体 | 高齢者食事会、多世代交流サロン、認知症カフェ、子ども食堂、青少年支援施設、路上生活者支援団体 |
| 第2回：12月2日～12月16日 | 25件(684点) | 14団体 | |
| 第3回：3月2日～3月16日 | 21件(176点) | 14団体 | |
| 合計 | 64件(963点) | 42団体 | |

※区民まつり、にこまちフォーラムでの受入分を含みます。

(4) ボランティアセンター機能の強化

① 職員のスキルアップ

各種研修や勉強会等に職員が参加するほか、毎月1回職員間でのミーティングを行い、ボランティア活動やニーズ収集・対応、ボランティア団体との関係構築等のスキルアップにつなげました。

② ボランティアセンター運営委員会の開催

ボランティアセンター業務の運営、ボランティア活動の振興、寄附金品の受付・配分等を審議するため、ボランティアセンター運営委員会を2回開催いたしました。(詳細はP33参照)

(5) ボランティア・市民活動分科会の定例開催

区社協会員のボランティアグループ・市民活動団体同士の情報交換と、区社協からの情報提供を行うために、定期的に開催しました。（詳細はP32参照）

(6) 善意銀行の運営

区民の団体や個人の方からの寄付金品を受け付け、寄付者の意向に基づき地域の福祉活動等のために活用しました。ボランティアセンター運営委員会において審議の上配分をしています。

① 寄託

| 内 容 | 件数 | 合計 |
|------|-----|-----------------|
| 金銭寄付 | 17件 | 401,647円 |
| 物品寄付 | 9件 | カレンダー、手帳、米、文具 他 |

(詳細はP41 別表5を参照)

② 配分

| 内 容 | 件数 | 合計 |
|------|-----|---|
| 金銭配分 | 11件 | ・地区社協小地域活動応援金 @150,000×6地区= 900,000 ・ふくしの学び応援金 @5,000×4校= 20,000 @10,000×1校= 10,000 配分金合計 930,000円 |
| 物品配分 | 4件 | 配食グループ、当事者グループ等へ配分 |

3 ボランティア・市民活動への財政支援

(1) 西区社協ふれあい助成金

より豊かな市民社会の実現のために、市民の自発性のもと、区内もしくは横浜市内で行われる非営利な地域福祉推進事業や障害福祉推進事業の支援を目的として実施しました。配分については、助成金等審査委員会にて審議し決定しました。

| 助成区分 | 件数 | 金額 |
|-----------------------|-----|------------|
| 要援護者支援区分(集いの場活動) | 14件 | 1,570,000円 |
| 要援護者支援区分(家事・生活支援活動) | 1件 | 160,000円 |
| 要援護者支援区分(配食活動) | 2件 | 320,000円 |
| 障害児者支援区分(当事者活動) | 3件 | 160,000円 |
| 障害児者支援区分(宿泊・日帰りハイク活動) | 2件 | 100,000円 |
| 障害児者支援区分(視覚聴覚障害者支援活動) | 1件 | 50,000円 |
| 福祉のまちづくり区分 | 13件 | 460,000円 |
| 健康増進区分 | 1件 | 10,000円 |
| 合 計 | 37件 | 2,830,000円 |

(詳細はP37別表1を参照)

(2) 西区社協会員助成金【新規】

区社協正会員向けの助成金を今年度より新たに設け、会員が行う地域福祉活動及び地域における公益的な取組を支援しました。配分については、助成金等審査委員会にて審議し決定しています。

| 助成区分 | 件数 | 金額 |
|---------------|----|----------|
| 地域福祉・地域貢献事業助成 | 3件 | 300,000円 |
| 周年事業助成 | 1件 | 160,000円 |
| 活動拠点整備事業助成 | 2件 | 329,000円 |
| 合 計 | 6件 | 789,000円 |

(詳細はP38別表2を参照)

(3) 年末たすけあい募金の配分

地域の皆さまの協力により集まった「年末たすけあい募金」を、西区内における年末時期の様々な福祉活動に活かし、福祉のまちづくりを推進するため、助成金として配分しました。配分については、助成金等審査委員会にて審議し決定しています。

| 助成区分 | 件数 | 金額 |
|--------------|-----|------------|
| 年末たすけあい募金助成金 | 17件 | 1,379,000円 |

(詳細はP39別表3を参照)

(4) にこまち助成金の配分

横浜市に寄附された約1億円を財源とし平成22年に設置された「にこまち基金」事業として、にこまちプラン(西区地域福祉保健計画)を推進していく活動を支援するため、つぎの団体へ助成しました。

(①申請金額が5万円以下のもの(会長決裁で決定) ②申請金額が5万円を超えるもの(審査委員会))

| 申請区分 | 団体数 | 助成金額 | |
|---------------|------|----------------|----------------|
| A区分 (まちづくり) | 12団体 | <申請金額5万円以下>: | 7団体 215,000円 |
| | | <申請金額5万円を超える>: | 7団体 1,602,000円 |
| B区分 (サービスづくり) | 12団体 | <申請金額5万円以下>: | 5団体 210,000円 |
| | | <申請金額5万円を超える>: | 7団体 1,480,000円 |
| C区分 (人づくり) | 0団体 | <申請金額5万円以下>: | — — |
| | | <申請金額5万円を超える>: | — — |
| 合 計 | 24団体 | 3,507,000円 | |

(詳細はP40別表4を参照)

Ⅲ 災害ボランティアネットワークの推進 (重点項目)

1 『西区災害ボランティアネットワーク』の推進

(1) 災害ボランティア活動者の育成

災害ボランティアネットワーク会員のスキルアップを目的とした総会・定例会の開催、コーディネーター養成講座、HUG(避難所運営ゲーム)講座等の実施を通じて、横浜市西区災害ボランティアネットワークの運営支援を行いました。

<定例会等の開催協力>

| 月日 | 内 容 | 人数 |
|-----------|--|------------------------|
| 4月20日(土) | 定例会 | 6名 |
| 5月18日(土) | 総 会(1)平成30年度事業報告及び決算報告 (2)令和元年度事業計画(案)及び収支予算(案) | 12名 |
| 5月19日(日) | 第3地区ふれあい春まつり参加 | 3名 |
| 6月2日(日) | 藤棚まつり参加 | 3名 |
| 6月15日(土) | 定例会・伝言ダイアル研修 | 5名 |
| 7月20日(土) | 定例会・第5地区納涼祭り参加 | 5名 |
| 9月21日(土) | 定例会・市民防災センター見学会 | 9名 |
| 10月19日(土) | 定例会 | 4名 |
| 10月24日(木) | 県立横浜平沼高等学校 地域貢献デーへの協力「防災学習」 | 4名 |
| 10月27日(日) | 赤い羽根街頭募金協力 | 5名 |
| 11月16日(土) | 定例会 | 4名 |
| 12月21日(土) | 定例会・まちあるき | 8名 |
| 1月18日(土) | 定例会 | 2名 |
| 1月25日(土) | 災害ボランティアコーディネーター養成講座① | 10名 |
| 2月22日(土) | 災害ボランティアコーディネーター養成講座② | * 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 |
| 3月14日(土) | 災害ボランティアコーディネーター養成講座③ | |

IV 福祉啓発・福祉教育の推進

1 福祉啓発・福祉教育の推進

(1) 企業の地域貢献活動の支援

地域貢献活動を希望する企業からの相談を受け、区、地域ケアプラザと共に対応しました。企業側の活動提案と、区社協からは地域のニーズを伝え、今後の取組について検討を進めました。

(2) 福祉教育活動の相談調整

学校等からの相談に対応し、講師として協力したほか、講師紹介等を行い協力しました。

| 月日 | 依頼者 | 内 容 | 延べ参加者数 |
|----------------------|---------------------|--------------------------------|--------|
| 9月27日(金) | 横浜市立 みなとみらい本町小学校 | 福祉学習(視覚障害理解) | 51名 |
| 10月24日(木) | 神奈川県立横浜平沼高校 | 地域貢献デー (共同募金運動、災害ボランティア) | 70名 |
| 11月6日(水) | 横浜市立西前小学校 | 福祉学習(視覚障害理解) | 91名 |
| 11月15日(金) | 横浜市交通局 | 人権研修 バリアフリー講座 (車椅子体験・高齢者理解) | 13名 |
| 11月18日(月) ～21日(木) | 横浜市立一本松小学校 | 共同募金運動 | - |

| | | | |
|-----------|------------|--------------------------------|------|
| 11月19日(火) | 横浜市立浅間台小学校 | 福祉学習(視覚障害理解) | 108名 |
| 11月21日(木) | 横浜市立東小学校 | 福祉学習(聴覚障害理解) | 34名 |
| 11月22日(金) | 横浜市交通局 | 人権研修 バリアフリー講座 (車椅子体験・高齢者理解) | 10名 |
| 11月25日(月) | 横浜市立浅間台小学校 | 福祉学習 (認知症理解・高齢者疑似体験) | 100名 |
| 12月3日(火) | 横浜市立岡野中学校 | 福祉学習 (聴覚障害理解・手話体験、車椅子体験) | 99名 |
| 12月3日(火) | アステラス製薬(株) | 福祉学習(高齢者疑似体験) | 15名 |
| 12月7日(土) | 横浜市立平沼小学校 | 平沼フェスティバル (チャレンジ福祉社会) | 36名 |

(3) 福祉教育相談調整・ふくしの学び応援金による福祉学習の促進

学校における福祉学習を促進するため、講座の講師や協力者の調整を行い、謝金等にかかる経費を助成しました。

| 実施校 | 講座名 | 内容 |
|-----------------|------------|-------------|
| 横浜市立みなとみらい本町小学校 | 福祉学習(障害理解) | 視覚障害理解 |
| 横浜市立西前小学校 | 福祉学習(障害理解) | 視覚障害理解 |
| 横浜市立浅間台小学校 | 福祉学習(障害理解) | 視覚障害理解 |
| 横浜市立東小学校 | 福祉学習(障害理解) | 聴覚障害理解 |
| 横浜市立岡野中学校 | 福祉学習(障害理解) | 聴覚障害理解・手話体験 |

(4) 福祉教育機材の貸出

学校・職場で福祉体験を行う際の車椅子等の備品を必要とする方へ貸し出しました。また、障害者施設の就労支援の目的も兼ね、NPO法人無限夢工房に車椅子の点検・清掃作業を、年間を通して委託しました。

(件数)

| 機材名 | 車椅子 | 高齢者疑似体験セット | 妊婦体験セット | アイマスク | 白杖 | 点字器 | ユニバーサルデザイングッズ |
|-------|-----|------------|---------|-------|----|-----|---------------|
| R元年度 | 48 | 15 | 2 | 4 | 4 | 2 | 4 |
| H30年度 | 139 | 19 | 2 | 1 | 4 | 2 | 1 |
| 比較増△減 | △91 | △4 | 0 | 3 | 0 | 0 | 3 |

(5) 福祉教育の理解促進

先生のための福祉講座(18区社協共催)の開催

教員を対象に、地域福祉や当事者への理解を深め、今後の学校教育に活かせる視点や手法等を修得することを目的に、横浜市教育委員会、横浜市社協及び18区社協共同で講座を実施しました。

| 月日・場所 | 内容 | 参加数 |
|---------------------------|---|-----|
| 8月19日(月) 横浜市健康福祉総合センター | ①導入講座「福祉とは、福祉教育とは」 講師:学習院大学文学部教育学科 教授 長沼 豊 氏 ②グループ討議「福祉教育をより効果的に進めていくために」 | 50名 |

(6) 社会福祉士相談援助実習の実習生の受入

福祉分野で活躍する人材育成を目的に、社会福祉士資格取得を目指す実習生を受け入れ対応しました。

実習期間：9月3日～10月24日

実習時間：計24日間・180時間(うち1日は市社協で受入)

実習生：大学生2名(2校より1名ずつ受入)

V 総合相談

1 地域における権利擁護事業(あんしんセンター事業)の推進

判断能力や身体能力が不十分な高齢者や障害者が安心して日常生活を送ることができるように支援するため、権利擁護に関する相談に対して、関係機関と連携を取りながら対応しました。また、福祉サービス利用援助、定期訪問・金銭管理サービス、財産関係書類等預かりサービスを契約に基づき実施しました。

(1) 地域福祉権利擁護事業(あんしんセンター事業)

① 権利擁護に関する相談

ア) 件数

| | | 高齢者 | | | 障害者 | | | その他 不明 | 合計 |
|-------|----|-----|-----|----|-----|----|----|-----------|----|
| | | 認知症 | その他 | | 身体 | 知的 | 精神 | | |
| R元年度 | 28 | 4 | 24 | 16 | 2 | 1 | 11 | 2 | 44 |
| H30年度 | 38 | 10 | 28 | 10 | 5 | 1 | 4 | 1 | 49 |

イ) 内容(複数内容あり)

| 内容 | 金銭管理・ 財産関係等預かり | 今後の生活設計 | 金銭消費契約 | 相続・遺言 | 家族親類との関係 | 財産侵害 | 日常生活上の問題 | 隣人知人との関係 | 福祉サービス利用 | 就業関係 | 成年後見制度 | その他 | 合計 |
|-------|-------------------|---------|--------|-------|----------|------|----------|----------|----------|------|--------|-----|----|
| R元年度 | 66 | 0 | 0 | 1 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 73 |
| H30年度 | 48 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 52 |

② 契約によるサービス(定期訪問・金銭管理サービス・財産関係書類等預かりサービス)

ア) 契約件数

| | 契約件数 | | 新規契約件数 (他区からの移管含む) | | 終了件数 (他区への移管含む) | |
|----------------|------|-------|-----------------------|-------|--------------------|-------|
| | R元年度 | H30年度 | R元年度 | H30年度 | R元年度 | H30年度 |
| 定期訪問・金銭管理サービス | 37 | 40 | 12 | 14 | 12 | 10 |
| 高齢者 | 29 | 31 | 11 | 13 | 9 | 9 |
| 障害者 | 8 | 9 | 1 | 1 | 3 | 1 |
| 財産関係書類等預かりサービス | 3 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 高齢者 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 障害者 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |

終了理由 R元年度 死亡:5、成年後見:6、施設入所:1

H30年度 死亡:2、成年後見:4、施設入所:3、移管:3

イ) 相談等延べ件数

| | | R1 年度 | H30年度 | 比較増減 |
|-------------------------|--------|-------|-------|------|
| 契約前対応 (電話・訪問他) | 電話 | 239 | 366 | △127 |
| | 来所 | 3 | 1 | 2 |
| | 訪問 | 44 | 72 | △28 |
| | 手続き援助等 | 3 | 0 | 3 |
| | 合計 | 289 | 439 | △150 |
| 契約者対応 (電話・訪問・各種手続き他) | 電話 | 2,402 | 2,660 | △258 |
| | 来所 | 23 | 11 | 12 |
| | 訪問 | 594 | 593 | 1 |
| | 手続き援助等 | 130 | 95 | △35 |
| | 合計 | 3,149 | 3,559 | △280 |
| 終了後対応 | 電話 | 37 | 22 | 15 |
| | 来所 | 7 | 10 | △3 |
| | 訪問 | 14 | 20 | △6 |
| | 手続き援助等 | 2 | 1 | 1 |
| | 合計 | 60 | 53 | 7 |

③ 広報・啓発活動

ア) 講座の開催

区民を対象に区・区社会福祉協議会・区内4地域ケアプラザ(地域包括支援センター)社会福祉士会が連携し、「エンディングノートの書き方講座」を全5回の連続講座として開催しました。

| 月日・場所 | 内容 | 人数 |
|----------------------------------|---|-----|
| 7月21日(日) 藤棚地域ケアプラザ | エンディングノートについて 講師:税理士・社会福祉士 角川衆一氏 | 34名 |
| 8月17日(土) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」 | 資産管理(成年後見制度)について 講師:司法書士法人横浜アシスト 堀江直樹氏 | 24名 |
| 9月12日(木) 宮崎地域ケアプラザ | 医療についての希望 講師:渡邊醫院 渡辺良医師 | 41名 |
| 10月19日(土) 浅間台地域ケアプラザ | 遺言・相続について 講師:扇谷行政書士事務所 扇谷喜久男氏 | 20名 |
| 11月16日(土) 戸部本町地域ケアプラザ | 葬儀・お墓について 講師:ラステル久保山 寺村公陽氏 | 23名 |

④ 西区役所及び地域ケアプラザ(地域包括支援センター)との連携

ア) 社会福祉士会への参加

権利擁護事業に関して情報交換を行うため、月1回の会議に出席しました。

イ) 成年後見サポートネット全体会への協力

西区役所が開催した成年後見サポートネット全体会に2回参加し、事前打ち合わせ、当日運営に協力しました。

ウ) 区内事業者 新人ケアマネジャー向け研修への参加

区内に事務所のある事業所の新人ケアマネジャー向けに、あんしんセンター利用の手続きや連携方法について説明しました。

エ) ケース検討会等の実施・参加

契約者への支援方法の確認や情報共有のため、ケース検討会を行いました。(随時)

(2) 市民後見人候補者、受任者への支援

成年後見制度の利用を必要とする高齢者や障害者の権利を擁護し、地域での生活を身近な市民が支える仕組みづくりを目指し、養成講座を受講した市民後見人候補者に対してフォローアップを行いました。

サポートネット分科会

西区役所や区内地域ケアプラザ社会福祉士とともにサポートネット分科会を開催、市民後見人バンク登録者とともにケース検討を行い、市民後見制度について見識を深めました。

| 月日・会場 | 内容 | 市民後見人バンク登録者参加人数 |
|------------------------|-------|-----------------|
| 9月11日(水) 西区福祉保健活動拠点 | ケース検討 | 12名 |

(3) 障害者後見的支援制度の推進

障害のある人を支援している人や地域の住民の方などが、制度に登録をした当事者を日々の生活の中で気にかけて、定期的な訪問を行う「障害者後見的支援制度」の紹介を、高齢者や障害者の方を身近な地域で見守る「ふれあい会」の担い手向け研修の中で実施しました。

| 月日・会場 | 参加団体 |
|-------------------------|-------------------------------|
| 12月16日(月) 西公会堂 1号会議室 | ふれあい会 31団体 55名 ふれあい会以外 10名 |

2 生活福祉資金等貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付事業

生活福祉資金：低所得者、障害者や日常生活上療養または介護を必要とする高齢者のいる世帯等に対して、資金の貸付と必要な援助を行い、その世帯の生活の安定と経済的自立を図ることを目的として実施しました。

総合支援資金：失業等、日常生活に困難を抱えており、生活の再建のために継続的な相談支援と生活費、一時的な資金貸付を委託事業として実施しました。

① 貸付件数

| 新規相談 資金項目 | 貸付実施件数 |
|----------------|--------|
| 総合支援資金 | 0 |
| 臨時特例資金 | 0 |
| 緊急小口資金 | 10 |
| 福祉資金(教育支援資金含む) | 9 |
| 不動産担保(要保護含む) | 0 |
| 生活福祉資金以外の制度 | - |
| 合計 | 19 |

② 相談件数

| 相談項目 | 制度内容相談 | | | 貸付相談 | | | 返済相談 | | | 合計 |
|----------------|--------|-----|--------|------|-----|--------|------|----|--------|-------|
| 資金項目 | 面接 | 電話 | その他封書等 | 面接 | 電話 | その他封書等 | 面接 | 電話 | その他封書等 | |
| 総合支援資金 | 1 | 33 | 25 | 9 | 6 | 3 | 1 | 6 | 50 | 134 |
| 臨時特例資金 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 3 |
| 緊急小口資金 | 7 | 63 | 44 | 47 | 87 | 26 | 0 | 9 | 47 | 330 |
| 福祉資金(教育支援資金含む) | 25 | 228 | 231 | 90 | 135 | 122 | 6 | 70 | 161 | 1,068 |
| 不動産担保(要保護含む) | 2 | 6 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 23 |
| 生活福祉資金以外の制度 | 69 | 141 | 178 | / | / | / | / | / | / | / |
| R元年度合計 | 69 | 473 | 488 | 146 | 228 | 152 | 7 | 85 | 265 | 1,946 |
| H30年度合計 | 106 | 516 | 497 | 136 | 152 | 347 | 16 | 81 | 295 | 2,146 |
| 比較増△減 | △37 | △43 | △9 | 10 | 76 | △195 | △9 | 4 | △30 | △200 |

(2) 生活福祉資金貸付世帯への支援取り組みの実施

月次報告を基に償還状況を確認、四半期ごとに担当民生委員への残高を確認する書類をお渡ししました。

生活福祉資金償還滞納ケースについて、担当民生委員と連携を図り対象ケースを整理、把握した世帯の状況に応じて、継続支援、懇談会等事業の実施、事務移管等の手続きを行いました。

| 内 容 | 件 数 |
|----------------------------|-----|
| 住所不明調査(あて先不明で返送されてきた 借受者等) | 12件 |

(3) 生活困窮者自立支援施策への対応

区生活困窮者自立支援事業担当課からの依頼により、定例支援調整会議へ出席しました。

| 月日 | 場所 |
|----------|------------|
| 7月10日(水) | 西区役所 3回会議室 |

(4) 食料支援

区や個人から要請があった世帯について、状況をヒアリングして必要性を検討し、食糧支援を行っている団体を紹介しました。

| 食糧支援団体 | 件数 |
|----------------|-----|
| セカンドハーベスト・ジャパン | 29件 |

Ⅵ 福祉ニーズのある方への支援

1 子育て支援

(1) 児童福祉関係分科会の開催

地域における子ども達に関する様々な課題について検討し、地域活動団体、福祉施設との相互理解を深めながら、課題解決に向けた取組検討や情報共有を図るため開催しました。（詳細はP32参照）

(2) 西区地域子育て支援連絡会の開催

区内の子育て支援活動者、乳幼児やその保護者等を対象に、西区地域子育て支援拠点「スマイル・ポート」と共催で講演会を開催しました。

| 月日・場所 | 内容 | 人数 |
|-----------------------------------|--|-----|
| 11月29日(金) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」 | 講演会「地域子育て支援活動者防災研修会」 講師：岩崎久美子氏(NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会) 内容：防災について、活動者が自身の活動や備えを改めて振り返り、互いに備えの必要性を確認した。 | 19名 |

(3) 子どもの居場所づくりに関する勉強会の開催

① 「子どもたちの現状を伝える勉強会」 【NTP児童、児童福祉関係分科会にも記載】

| 月日・場所 | 内容 | 人数 |
|----------------------------------|---|-----|
| 1月23日(木) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」 | 研修会：「子どもの居場所について考えよう～地域で子どもの居場所を支えるためには～」 講師：ずし子ども0円食堂 草柳 ゆきゑ氏 ・ 服部 誠氏 内容：子ども達への支援や居場所の必要性、地域の活性化につながることを伝えられるような講義とグループワーク | 35名 |

(4) 親子ふれあい会への支援

各地区社協で行われている「親子ふれあい会」に対し活動費を助成しました(財源：共同募金配分金)。

| 地区名 | 金額 |
|------|----------|
| 第二地区 | 48,000円 |
| 第六地区 | 63,000円 |
| 合計 | 111,000円 |

2 障害児・者支援

(1) 出会いの場「来て、見て、知って、つながって」の振り返り及びプレ実施

これまで開催してきた出会いの場づくり事業について、障害福祉関係分科会にて振り返りを行い、趣旨・目的、開催方法等を確認・検討しました。分科会での意見をもとに、分科会参加施設のご利用者にご協力いただき、分科会員同士の理解を深めるとともに、今後の実施に向けて、出会いの場づくり事業のプレ実施を行いました。

| 月日・場所 | 内容 | 参加人数 |
|--------------------|---|------|
| 6月26日(水) 「フクシア」 | 6名程度の少人数のグループに分かれ、時事ニュース等のテーマを設け、「共通の話題」を通して、障害当事者の生活及びその人自身や障害について話し合いました。 | 18名 |

(2) 「当事者発・地域啓発支援事業」の開催

横浜市社会福祉協議会障害者支援センター「当事者発・地域啓発支援事業」の助成金を活用し、第三地区社会福祉協議会において、地域住民が、「障害」についての理解を深めるとともに、誰もが暮らしやすい地域・福祉共生を一緒に考えることを目的とした福祉講座を実施しました。

| 月日・場所 | 内 容 | 参加人数 |
|----------------------|--|------|
| 2月22日(土) 生活創造空間こし | 「心のバリアフリー研修(DET=障害平等研修)」 少人数のグループに分かれ、ファシリテーターである障害当事者との対話を通して、「障害とは何か」について理解を深め、身近な地域生活の中にある障害について考えました。 | 22名 |



(3) 西区地域自立支援協議会への参画

区内の障害関係施設で構成する「西区地域自立支援協議会」の一員として、全体会議(年2回)の他、各種会議等に参加・協力しました。

| 参加会議名 | 内 容 |
|--------|--------------------|
| 担当者会議 | 全参加施設の担当者の集まり |
| 余暇支援部会 | 障害児者への余暇支援についての検討 |
| 防災会議 | 災害時対応についての検討・施設見学等 |

(4) 障害者福祉関係分科会の定例開催

障害児者関係団体・施設を中心とした分科会を定例的に開催し、出会いの場の検討やにこまちプランのヒアリングを含め、共通課題の検討や分科会事業の実施等を積極的に行いました。(詳細はP31参照)

3 高齢者支援

(1) 高齢者福祉関係分科会の定例開催

高齢者関係団体・施設を中心とした区社協会員の集まりである分科会を定例的に開催し、その中で認知症啓発ビデオの上映会を開催したり、エンディングノートの紹介、地域で始まった高齢者向けの生活支援活動等について情報共有をしました。

(2) 関係機関との連携

担い手から受けた相談について、地域包括支援センターにつなげるなどの連携をしました。

(3) ハマのオヤジゼミナールの開催（再掲）

退職後またはこれから定年を迎える男性などを対象に、地域での仲間づくりやボランティア活動へつながるきっかけづくりとして、導入編の講座を開催しました。

「ちょこっとボランティア入門講座」

| 月日・場所 | 内容 | 人数 |
|-----------------------------------|--|-----|
| 11月17日(日) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」 | 【講義】「充実したボランティア活動のために」 講師:長橋 輝明 氏(キャリア・コンサルタント/産業カウンセラー) 内容:ボランティア活動の必要性や楽しさ、いきがいづくりについて | 8名 |
| 11月27日(水) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」 | 【講義】「ボランティアのスキルを学ぶ～聴き上手 講座」 講師:長橋 輝明 氏(キャリア・コンサルタント/産業カウンセラー) 内容:講義とワークを織り交ぜて傾聴のテクニックを学ぶ | 12名 |

(4)ふれあい会に対する支援

①「西区ふれあい福祉推進事業」の業務受託

西区役所からの業務を受託し、“ふれあい会”(高齢者見守り会)の申請・報告(年2回)の受付、確認作業や相談報告書の作成並びに各会の交流も兼ねた研修会を行いました。

ア)報告・申請書類の受付について

| | |
|------------------------|---|
| 報告・申請書類の受付 (4月・10月) | R 元年度報告:53団体 R2年度申請 :53団体 相談報告書:22件 |
|------------------------|---|

イ)事務説明会

毎年4月に提出していただく報告・申請方法等について令和2年3月10日に説明会を予定しましたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、書類送付によるご説明・周知いたしました。

②ふれあい会等を対象とした研修会の実施

ふれあい会活動等を行っている担い手を対象に研修会を実施しました。

| 月日・場所 | 内容 | 参加人数 |
|-------------------------|---|----------------------------------|
| 12月16日(月) 西公会堂 1号会議室 | 内容: (1)ふれあい会の取組紹介 ①南浅間町第一ふれあい会 ②岡二あいあい訪問会 (2)インタビュー形式にて活動の様子を質疑応答 (3)参加者同士での意見交換 | ふれあい会 31団体 55名 ふれあい会以外 10名 |

4 送迎サービス事業

送迎ボランティアの協力により、通常の交通手段では外出が困難な在宅高齢者や障害者の方を対象に送迎用福祉車両による送迎サービスを実施しました。

横浜市の委託事業として介護保険対象者の通院等を目的とした「外出支援サービス」とそれ以外の方を対象とした区社協の送迎サービスの2本立てで実施しています。

※道路運送法第79条6及び同法施行規則第51条の10の規程に基づいた登録団体として実施

【登録番号】関神福第126号

(1) 利用状況及び登録者

① 利用内容

(件数)

| 利用内容 | 外出支援 | 区社協送迎 | 総数 |
|-----------------|------|-------|-----|
| R元年度 医療(通院等) | 202 | 17 | 219 |
| R元年度 福祉サービス利用 他 | 0 | 0 | 0 |
| R元年度 合計 | 202 | 17 | 219 |
| H30年度 合計 | 243 | 18 | 261 |
| 比較増△減 | △41 | △1 | △42 |

② 新規利用登録者

(人数)

| 新規利用登録 | 外出支援 | 区社協送迎 | 総数 |
|----------|------|-------|----|
| R元年度登録者 | 0 | 0 | 0 |
| H30年度登録者 | 4 | 0 | 4 |
| 比較増△減 | △4 | 0 | △4 |

(2) 送迎ボランティア育成・支援

① 送迎ボランティア登録者数

| 年度 | 人数 |
|----------|----|
| R元年度登録者 | 7 |
| H30年度登録者 | 8 |
| 比較増△減 | △1 |

② 送迎ボランティアミーティングの開催

送迎サービスの運転ボランティアを対象に情報提供・情報交換のためのミーティングを実施しました。

| 月日・場所 | 内容 | 参加人数 |
|---------------------------------|---|------|
| 7月4日(木) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」 | ○送迎サービス事故発生状況についての報告 ○交通安全についてDVD鑑賞 ○安全運転チェックテスト ○情報交換 他 | 8名 |

③ 研修

西区社会福祉協議会で「6区(西、南、中、港南、磯子、金沢)合同安全運転講習会」を開催し、ボランティアの方が参加しました。

| 月日・場所 | 内容 | 参加人数 |
|----------------------------------|---|---------------|
| 1月16日(木) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」 | ○ODVDIによる講習 乗車事故傾向、焦り立ちの傾向セルフチェック、焦り運転、人の能力の限界、危険予測について 他 ○グループワーク(情報交換等) テーマ…「私が心掛けていること」 | 1名 (全区24名) |

5 交通遺児等への支援

(1) 交通遺児援護金の交付

区内の20歳未満の交通遺児を抱える世帯に対し、事故見舞金や入学・卒業の激励金を交付する事業ですが、令和元年度は0件でした。

(2) 低所得者援護費の給付

行路病人に対して援護金を区民児協が給付しました。

| 給付件数 | | 内容 | 金額 |
|-------|-----|-------|---------|
| R元年度 | 43件 | 旅費43件 | 12,110円 |
| H30年度 | 36件 | 旅費36件 | 10,980円 |
| 比較増△減 | | | 1,130円 |

(3) 小災害見舞金の交付

区内で小災害(台風、火事等)に被災された世帯に対し見舞金を交付しました。

| 災害発生日 | 件数・内容 | 金額 |
|-----------|---------------|----------|
| 9月9日(月) | 台風による風水害 28件 | 140,000円 |
| 10月12日(土) | 台風による風水害 1件 | 5,000円 |
| 1月22日(水) | 火災 1件 | 5,000円 |
| 3月11日(水) | 火災 1件 | 5,000円 |
| R元年度 合計 | 火災 2件、風水害 29件 | 155,000円 |

| | | |
|----------|--------------|---------|
| H30年度 合計 | 火災 3件、風水害 1件 | 20,000円 |
|----------|--------------|---------|

6 移動情報センター

障害のある方やご家族、支援者等からの移動に関する相談に応じて、サービス事業者やボランティア等の紹介・コーディネートを行いました。また、ガイドボランティア事業として、移動支援に関わるボランティア等の発掘・育成に向けた取り組みを行いました。その他、広報紙やホームページ等を活用した移動情報センターの周知、サービス事業者等の移動支援に関する情報の収集・更新に努めました。

※横浜市より業務委託を受け、平成30年1月から「西区移動情報センター」を開設しています。

(1) 相談対応・コーディネート

相談件数:89件

障害種別:

| 身体 | 知的 | 精神 | その他 |
|-----|-----|----|-----|
| 30件 | 43件 | 7件 | 10件 |

相談内容:

| 通院等必要不可欠な外出 | 余暇等社会参加のための外出 | 通学 | 通所 | 制度説明 | その他 |
|-------------|---------------|-----|-----|------|-----|
| 12件 | 18件 | 27件 | 18件 | 2件 | 12件 |

調整件数:945件

| 電話 | メール、FAX等 | 来所 | 訪問 | フォローアップ |
|------|----------|-----|-----|---------|
| 858件 | 26件 | 35件 | 26件 | 194件 |

(2) 移動情報センター推進会議の開催

| 月日 | 内容 | 人数 |
|-----------|--|-----|
| 6月7日(金) | ○相談実績・対応状況について ○R元年度事業計画・年間予定について 他 | 14名 |
| 9月3日(火) | ○相談実績・対応状況について ○R元年度の取り組みについて(事業所訪問、講座) | 18名 |
| 12月18日(水) | ○相談実績・対応状況について ○R元年度の取り組みについて(周知、講座) | 18名 |
| 3月9日(月) | ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 | — |

(3) 横浜市ガイドボランティアの養成・コーディネート

ボランティアによる付き添いの相談に対して、既存のガイドボランティアだけでなく相談者の近隣地域にて、自治会町内会や民生委員へ相談するなど、新規ボランティア募集を図りました。また、実活動に際し、ガイドボランティアと支援対象者との初回顔合わせや慣れるまでの活動へ同行、活動後の状況確認など、活動が安心してできるように努めました。

①登録者数:

| 支援対象者 | ガイドボランティア |
|-------|-----------|
| 17名 | 23名 |

②活動状況:【通学】398件 【余暇】8件 【一般】4件

※上記活動状況に含まれない件数として、以下の活動あり

- 西区の支援対象者に対する他区のガイドボランティア登録者による活動
- 西区のガイドボランティア登録者によるガイドボランティア事業対象外のボランティア活動

③ボランティア等の発掘・育成に向けた取組

| 月日 | 内容 | 人数 |
|----------|--|-----|
| 1月29日(水) | おでかけ付き添いボランティア講座 in 浅間台地域ケアプラザ ○講義「障がい理解について」 ○ボランティア・ガイドボランティアについて(活動者からの話) | 18名 |
| 2月26日(水) | ガイドボランティアスキルアップ交流会 ～肢体不自由編～ ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 | — |

西区社会福祉協議会 移動情報センター主催
(協力:浅間台地域ケアプラザ)

**おでかけ付き添い
ボランティア講座**

学校の送り迎えやご近所へのお散歩など、障がいのある方に付き添って一緒におでかけをするボランティアを募集しています。
「歩くのが好きな方」や「障がいのある方を支える活動に興味のある方」など、少しでもご関心のある方はぜひご参加ください。

**【日 時】 令和2年1月29日(水)
10:00~11:30**

【内 容】 「知的障がいのある方との関わり方」について
※知的障がいのある方の見え方・感じ方など、動画を見ながら学びたいです。
※実際にボランティア活動をしている方からの講話もあります。

【場 所】 浅間台地域ケアプラザ 多目的ホール

【申込み】 下記問合せ先へお電話・FAX・メールで受付
(令和2年1月27日(月)締切)

<問合せ>
西区社会福祉協議会 移動情報センター (自由:久保田)
TEL: 045-620-5998
FAX: 045-451-3131
Mail: iko-nishi@yokohamashakyo.jp

VII 福祉情報発信機能の充実

1 広報紙の発行・ホームページの活用

(1) 広報紙の発行

区社協のPRや地域の福祉活動の紹介、ボランティア関係情報の提供を通じて、区民に福祉への理解を深めてもらうことを目的としてタウンニュース紙面に掲載し、年3回発行しました。西区内のタウンニュース中・西版が届かない地域へは戸別にお届けするとともに、区内施設等へ配架を依頼し、広報を行いました。

① 広報紙「もくせい」の発行

| 発行月 | 内容 | 発行部数 |
|---------------|---|---------|
| 7月 (第77号) | ○シリーズ「こどもの居場所」第六地区ムーミンなかま食堂 ○社協からのお知らせ(各種講座・イベント情報等) ○その他:平成30年度事業報告・決算、令和元年度事業計画・予算、賛助会員・善意銀行のお礼 他 | 43,500部 |
| 10月 (第78号) | ○シリーズ「こどもの居場所」第一地区わいわいランチの会 ○社協からのお知らせ(ボランティア講座、寄付のお願い 等) ○その他:赤い羽根共同募金、賛助会員・善意銀行のお礼 他 | 43,500部 |
| 2月 (第79号) | ○シリーズ「こどもの居場所」シャーロックBABY サタデーシャーロック ○社協からのお知らせ(災害ボランティア講座紹介、助成金案内 等) ○その他:移動情報センター、賛助会員・善意銀行のお礼 他 | 43,500部 |

(2) ホームページの活用

ホームページを平成28年4月にホームページリニューアルし、区社協PRやボランティア講座等の周知に活用すると共に、随時更新しました。また併せてフェイスブックページの作成を行い、随時更新を行いました。

| | |
|--|------|
| 西区社協ホームページ(http://www.yoko-nishishakyo.jp/) | |
| 西区社協フェイスブック(https://www.facebook.com/yokonishisya) | |
| R元年度更新回数 | 108回 |
| H30年度更新回数 | 54回 |

VIII 西区地域福祉保健計画の推進

1 第3期西区地域福祉保健計画の推進とNTPIによる事業展開

平成22年度より「西区社協地域福祉活動計画」と「西区地域福祉保健計画」を一体的に策定しています。

本年度は「第3期西区地域福祉保健計画(にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン)」の4年目となり、区役所・地域ケアプラザとともに地区支援チームの一員として計画を推進・支援しました。

(1) にこまち助成金の配分（再掲）

横浜市に寄附された約1億円を財源とし平成22年に設置された「にこまち基金」事業として、にこまちプラン(西区地域福祉保健計画)」を推進していく活動を支援するため、つぎの団体へ助成しました。

(①申請金額が5万円以下のもの(会長決裁で決定) ②申請金額が5万円を超えるもの(審査委員会)

| 申請区分 | 団体数 | 助成金額 | |
|--------------|------|------------------|-------------------|
| A区分（まちづくり） | 12団体 | <申請金額 5 万円以下>: | 7団体 215, 000円 |
| | | <申請金額 5 万円を超える>: | 7団体 1, 602, 000円 |
| B区分（サービスづくり） | 12団体 | <申請金額 5 万円以下>: | 5 団体 210, 000円 |
| | | <申請金額 5 万円を超える>: | 7 団体 1, 480, 000円 |
| C区分（人づくり） | 0団体 | <申請金額 5 万円以下>: | — — |
| | | <申請金額 5 万円を超える>: | — — |
| 合 計 | 24団体 | 3, 507, 000円 | |

(詳細はP40別表4を参照)

(2) NTP(にこまちトライプロジェクト)による事業展開

テーマ別に(高齢、障害、子ども)区全体の課題解決に向けて、「NTP(にこまちトライプロジェクト)」と称して具体的な取り組みを行いました。

【高齢分野】

ハマのオヤジゼミナールの開催(再掲)

退職後またはこれから定年を迎える男性などを対象に、地域での仲間づくりやボランティア活動へつながるきっかけづくりとして、導入編の講座を開催しました。

「ちょこっとボランティア入門講座」

| 月日・場所 | 内 容 | 人数 |
|-----------------------------------|---|-----|
| 11月17日(日) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」 | 【講義】「充実したボランティア活動のために」 講師:長橋 輝明 氏(キャリア・コンサルタント/産業カウンセラー) 内容:ボランティア活動の必要性や楽しさ、いきがいづくりについての講演 | 8名 |
| 11月27日(水) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」 | 【講義】「ボランティアのスキルを学ぶ～聴き上手 講座」 講師:長橋 輝明 氏(キャリア・コンサルタント/産業カウンセラー) 内容:講義とワークを織り交ぜて傾聴のテクニックを学ぶ | 12名 |

【障害分野】

出会いの場「来て、見て、知って、つながって」の振り返り及びブレ実施（再掲）

これまで開催してきた出会いの場について、障害福祉関係分科会にて振り返りを行い、趣旨・目的、開催方法等を確認・検討しました。分科会での意見をもとに、分科会参加施設のご利用者にご協力いただき、分科会会員同士の理解を深めるとともに、今後の実施に向けて、出会いの場づくり事業のブレ実施を行いました。

| 月日・場所 | 内 容 | 参加人数 |
|----------------------------------|--|------|
| 6月26日(水) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」 | 6 名程度の少人数のグループに分かれ、時事ニュース等のテーマを設け、「共通の話題」を通して、障害当事者の生活及びその人自身を知り、障害への理解をすすめる目的で実施しました。 | 18名 |

【子ども分野】

① 勉強会準備会等の実施

子どもに関する施設職員、地域の活動者、区、ケアプラザが集まり、学齢期の子どもの居場所づくりを進める目的で意見交換、勉強会の企画を行いました。

| 月日 | 検討メンバー |
|--|--------|
| 第1回 6月10日(月) 第2回 7月30日(火) 第3回 8月26日(月) 第4回 12月6日(金) | 9名 |

②子どもの居場所づくりに関する勉強会の開催（再掲）

※地区社協分科会と共催で開催

| 月日・場所 | 内 容 | 人数 |
|----------------------------------|---|-----|
| 1月23日(木) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」 | 研修会:「子どもの居場所について考えよう～地域で子どもの居場所を支えるためには～」 講師: ずし子ども0円食堂 草柳 ゆきゑ氏 ・ 服部 誠氏 内容: 子ども達への支援や居場所の必要性、地域の活性化につながることを伝えられるような講義とグループワーク | 35名 |

(3)にこまち講座の開催(区との共催)

西区地域福祉保健計画(にこまちプラン)の推進に向け、区役所と共催し講座を開催しました。(再掲)

| 月日・場所 | 内 容 | 人数 |
|------------------|---|---------------|
| 9月28日(土) 西公会堂 | にこまち講座 「みんなが主役のまちづくりフォーラム」 映画「みんなの学校」上映・シンポジウム 講師: 木村泰子氏 (大阪市立大空小学校初代校長) | 地域住民等 242名 |

(4) にこまちフォーラムの開催

「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」の第3期計画取組推進にむけての基調講演と発表会を西区役所・地域ケアプラザと共催で開催しました。

| 月日・場所 | 内 容 | 参加人数 |
|------------------|---|------|
| 2月15日(土) 西公会堂 | テーマ: にこやか しあわせ つながる地域 ～はじめよう、今日からわたしにできること～ 内容: 基調講演 講師: 西尾 敦史氏(愛知東邦大学 人間健康学部教授) 各地区による活動報告 ほか 〈ロビー展示〉各地区活動紹介等のパネル展示、障害者福祉施設等の物品販売など | 233名 |

2 地区支援チームへの参画

各地区が地区別計画を推進するにあたり、区役所・地域ケアプラザ・区社協が地区支援チームとして協働し、チーム打合せや地区別懇談会への参加等を行いました。

①第一地区

| 月 日 ・ 内 容 | |
|-----------|--|
| ■地区懇談会: | 第1回 7月8日(月) 第2回 11月25日(月) 内容:「今後の第一地区の取り組みに向けて」意見交換・活動報告 |
| ■その他の会議等 | 部会長会議 第1回 6月21日(金) 第2回 10月3日(木) 第3回 1月6日(月) 高齢支援部会 第9回(のべ) 2月25日(火) |

②第2地区

| 月 日 ・ 内 容 | |
|-----------|---|
| ■地区懇談会 | 第1回 10月31日(木) 第2回 2月10日(月) 主な内容: 第3期地区別計画進捗状況、団体活動紹介、にこまちフォーラムについてなど |
| ■その他の会議等 | 福祉バス・身障者旅行 9月10日(火) 敬老ふれあい茶話会 10月31日(木) 藤棚らいぶステーションボランティア懇親会 第1回 11月22日(金) 第2回 3月26日(木) (3/26は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止) |

③第3地区

| 月 日 ・ 内 容 | |
|-----------|---|
| ■地区懇談会 | 第1回:7月24日(水) 第2回:11月11日(月) 第3回:1月20日(月) 主な内容:地区別計画(第1～3部会)、ふれあい春まつり、第3地区のテーマごと現状(子ども、高齢、障害)、第4期計画 など |
| ■その他の会議等 | 地区別計画会議: 第1部会(11回)・・・わいわい講演会開催(3回) 第2部会(8回)・・・広報紙にこまち3発行(3回)、施設見学会実施(1回) 第3部会(7回)・・・イベントカレンダー発行(6回) ふれあい春まつり関係会議 (令和元年5月19日開催分):4月9日(火)・19日(金) (令和2年5月17日開催分):11月13日(水)・12月13日(金)・2月25日(火) ※中止判断 福祉フェスタ:10/5(土)開催 |

④第4地区

| 月 日 ・ 内 容 | |
|-----------|--|
| ■理事会 | 第1回:6月11日(火) 第2回:7月2日(火) 第3回:10月8日(火) 第4回:11月12日(火) 第5回:2月12日(水) |
| ■その他の会議等 | ふれあい会・友愛会・食事会交流会 第1回:6月3日(月)、第2回:8月26日(月)、第3回:10月7日(月)、第4回:11月11日(月) 第5回:12月3日(火) まとめ会:2月3日(月) |

⑤第五地区

| 月 日 ・ 内 容 |
|---|
| <p>■地区懇談会 第1回 5月17日(金) 第2回 8月9日(金) 第3回 11月1日(金) 第4回 2月7日(金) 主な内容: 第3期地区別計画進捗状況、団体活動紹介、にこまちフォーラムについてなど</p> <p>■その他の会議等 第五地区地域のつどい: 7月12日(金) *テーマ:「高齢者を狙った特殊詐欺」「浸水対策」</p> |

⑥第六地区

| 月 日 ・ 内 容 |
|--|
| <p>■地区懇談会 第1回 11月9日(土) 第2回 3月14日(土)※コロナウィルスのため中止 主な内容: 第3期地区別計画進捗状況、団体活動紹介、にこまちフォーラムについてなど</p> |

3 第4期西区地域福祉保健計画策定に向けた検討

第4期西区地域福祉保健計画(にこまちプラン)策定のために、区役所所管課と協働して、定例の打合せ会議や第3期計画推進のふりかえり作業を行いました。

| 月 日 ・ 内 容 |
|---|
| <p>■定例打合せ 愛知東邦大学の西尾敦史教授を、《にこまちプラン策定アドバイザー》に迎えて、第4期計画策定の過程について協議を行いました。 第1回:4月26日(金) 第2回:5月24日(金) 第3回:6月28日(金) 第4回:8月22日(木) 第5回:9月20日(金) 第6回:10月21日(月) 第7回:11月18日(月) 第8回:12月3日(火) 第9回:2月6日(木)</p> <p>■第3期計画ふりかえりヒアリング 第3期計画の取り組みを推進する各団体に、現状の課題や今後の期待等について聞き取りを実施し、第3期計画のふりかえりとしてまとめました。</p> <p>〈ヒアリング実施団体: 15 団体 実施期間: 令和元年7月～10月〉</p> <p>【児 童 関 係】 ・西区社協 児童福祉関係分科会 ・NPO法人 シャーロックホームズ「シャーロックBaby」 ・NPO法人 はぐっと</p> <p>【高 齢 関 係】 ・西区社協 高齢者福祉関係分科会 ・西区在宅介護社のつどい「あけぼの会」 ・NPO法人 ワーカーズコレクティブ たすけあいぐっぴい</p> <p>【障 害 関 係】 ・西区社協 障害福祉関係分科会 ・西区聴覚障害者福祉協会 ・西区地域精神保健家族会「もみじ会」 ・まつぼっくり会 ・西区生活支援ネットワーク</p> <p>【ボランティア関係】・西区社協 ボランティア・市民活動分科会 ・ボランティア赤い靴 ・生活支援ボランティア「サポート西」</p> <p>【施 設 関 係】 ・西区センター会議</p> |

IX 横浜市西区福祉保健活動拠点「フクシア」の運営（重点項目）

1 拠点の管理・運営

平成29年度より第3期の指定管理者となり、「地域における市民の自主的な福祉保健活動のための場」として多くの方に活用いただけるよう運営を行いました。

(1) 登録状況

①利用登録団体 260団体

| ボランティア・市民活動団体 | 障害児者等当事者団体 | その他 (地域団体、福祉保健職域団体) |
|---------------|------------|------------------------|
| 117団体 | 46団体 | 97団体 |

②メールボックス使用団体 24団体（24個中）

③ロッカー使用団体 40団体（40個中）

(2) 利用状況(新型コロナウイルス感染拡大防止のため R2.3.1～R2.3.31 閉館)

| 部屋名 | 利用件数・利用率 | | | | 比較増減 |
|-----------|----------|-------|--------|-------|------|
| | H30年度 | | R元年度 | | |
| 団体交流室 | 1,133件 | 66.4% | 935件 | 60.6% | △198 |
| 多目的研修室 | 978件 | 73.9% | 825件 | 72.4% | △153 |
| 点字製作室 | 696件 | 51.5% | 608件 | 54.2% | △88 |
| 録音室 | 194件 | 29.9% | 102件 | 9.8% | △92 |
| 対面朗読室・編集室 | 739件 | 73.9% | 679件 | 57.5% | △60 |
| 全体 | 3,740件 | 59.2% | 3,149件 | 50.8% | △591 |

(3) 利用調整会議

利用登録団体間の交流や、利用に当たっての注意事項を「令和2年度改訂版利用の手引き」と共に伝達することを目的として実施しました。参加団体に活動内容を紹介していただき、活動者の思いを共有できました。

| 月日・場所 | 内容 | 参加数 |
|------------------------|--|----------|
| 2月14日(金) 西区福祉保健活動拠点 | ○窓口満足度調査のお礼と結果報告 ○事務局からの注意事項伝達とお願い ○各団体の活動紹介 ○ロッカー・メールボックスの抽選 | 41団体 43名 |

(4) 意見箱の設置

団体交流室に市社協の独自システムである「ご意見箱」を設置しました。

(5) 個別専門相談「よこはま LGBT 相談」の共同開催について

横浜市民局人権課及び特定非営利活動法人 SHIP と連携した相談会を定期的にも実施、性的少数者支援を行いました。

相談日：12日(毎月1回) 相談件数：10件



2 ボランティア等の地域福祉保健活動に関する相談及び育成

福祉保健活動拠点の利用団体に対して、ボランティアに関する相談(活動先の紹介、ボランティア保険の案内など)やボランティア講座の案内、助成金制度の案内等を通じて活動の発展・啓発を図りました。

また、フードドライブや善意銀行への寄付物品について、活動の一助としてもらうため、必要とする団体に適宜アナウンス・配分しました。

X 法人運営

1 会員、部会・分科会、委員会

(1) 会員

① 正会員

| | |
|---------------|-------------|
| 社会福祉施設 | 31 |
| 民生委員児童委員 | 124 |
| 地区社会福祉協議会 | 6 |
| 地区連合自治会・町内会 | 6 |
| 自治会町内会 | 93 |
| 障害者団体等当事者団体 | 13 |
| ボランティア・市民活動団体 | 17 |
| 社会福祉関係団体 | 19 |
| 行政機関 | 4 |
| 学識経験者 | 1 |
| 正会員合計 | 314 |
| 正会員会費合計① | 1,010,000 円 |

② 賛助会員

| | |
|---------|---|
| 法人・団体 | 14 |
| 個人 | 61 |
| 賛助会員合計 | 75 |
| 賛助会費合計② | 法人・団体 89,000 円 個人 135,000 円 = 224,000 円 |

| | |
|------|------------------|
| 会費合計 | ① +② 1,234,000 円 |
|------|------------------|

② 会員の拡充

区社協の持つネットワークを広げ、地域における活動支援をより積極的に進めるため、会員拡充を図りました。
入会団体 : 1 団体

また、本会会員が行う地域福祉活動及び地域における公益的な取組を支援するため、西区社協会員助成金制度を新たに設け、会員メリットを拡充しました。

(2) 部会・分科会・委員会

会員同士の交流や課題検討、助成金審査等のため、各種会議を開催しました。

① 分科会

【地区社協分科会】

地区社協会長・副会長、事務局長等、地区社協役員の方が広く出席し、地区社協間の意見交換・課題検討を行いました。(年8回開催)

| 月日 | 主な議題 | 結果 | 人数 |
|----------|---|---------|-----|
| 4月25日(木) | ○分科会長・副分科会長について ○平成31年度西区社協事業について ○平成31年度地区社協助成金、賛助会費について他 | 全て承認された | 24名 |
| 6月27日(木) | ○西区見守り部会の取り組みと見守りガイドについて ○第4期横浜市地域福祉保健計画の策定について ○令和元年度地区社協助成金について 他 | | 29名 |
| 7月25日(木) | ○第4期にこまちプランについて ○地区社協ヒアリング報告・地区社協検討会報告 ○西区版見守りガイドについて【意見交換】 他 | | 23名 |
| 9月26日(木) | ○西区社協功労者表彰候補者の推薦について ○西区社協会費について ○共同募金運動について 他 | | 30名 |

| | | | |
|-----------|--|--|---------------------------|
| 10月24日(木) | ○地区社協カレンダーについて ○地区社協視察研修・地域福祉フォーラムについて ○社会福祉実習生の発表 他 | | 30名 |
| 11月28日(木) | ○共同募金と年末たすけあい募金について ○年末たすけあい募金助成金について ○地区社協カレンダーについて 他 | | 30名 |
| 1月23日(木) | 【第1部】:研修会 地区社協分科会・にこまちライブプロジェクト+合同研修 ※別途記載 【第2部】:分科会 ○令和元年度「年末たすけあい募金配分金」について ○令和元年度よこはまの地区社協全体会について ○今後の地区社協分科会及び関連研修等について他 | | 合計33名 (地区社分 科会 23名) |
| 2月20日(木) | ○次年度地区社協分科会・研修会、助成金等について ○令和2年度地区社協分科会長・副分科会長について ○各種研修会・地区社協検討会報告 他 | | 24名 |
| 3月25日(水) | *新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 | | - |

※場所はすべて西区福祉保健活動拠点「フクシア」です。

【高齢者福祉関係分科会】

| 月日 | 議 題 | 結果 | 人数 |
|-----------|--|-------------|-----|
| 4月24日(水) | ○本年度区社協事業計画について ○本年度の分科会の活動について 他 | 全て承認 された | 25名 |
| 7月24日(水) | ○「にこまちプラン」のふりかえりについて ○映画「認知症と向き合う」上映 他 | | 23名 |
| 10月23日(水) | ○西区内の高齢者への生活支援活動について ○第3期にこまちプランふりかえりについて 他 | | 19名 |
| 1月22日(水) | ○今年度分科会のふりかえりについて ○次年度の分科会について 他 | | 22名 |

※場所はすべて西区福祉保健活動拠点「フクシア」です。

【障害福祉関係分科会】

| 月日 | 議 題 | 結果 | 人数 |
|-----------|---|-------------|---------------|
| 4月12日(金) | ○本年度西区社協事業計画について ○本年度障害福祉関係分科会の事業計画について | 全て承認 された | 16名 (15団体) |
| 7月5日(金) | ○出会いの場づくり事業について ○にこまちプラン振り返りについて 他 | | 20名 (18団体) |
| 10月25日(金) | ○出会いの場サロン事業プレ実施 | | 22名 (17団体) |
| 1月24日(金) | ○出会いの場サロン事業プレ実施報告 ○今年度の振り返り・次年度分科会について 他 | | 15名 (14団体) |
| 9月26日(木) | ○第3期「にこまちプラン」振り返り協議 | | 13名 (12団体) |

【児童福祉関係分科会】

| 月日 | 議 題 | 結果 | 人数 |
|----------|---|-------------|-----|
| 6月20日(木) | ○本年度事業計画について ○本年度分科会の活動について ○情報交換 他 | 全て承認 された | 19名 |
| 9月17日(火) | ○第3期にこまちプランふりかえり意見交換 ○居場所の情報交換会振り返りについて ○意見交換・情報交換 他 | | 22名 |
| 2月19日(水) | ○本年度事業実施状況について ○「にこまちプラン」の団体ヒアリング・区民アンケート報告 ○次年度事業計画について ○西区子どもの居場所の取り組みについて | | 16名 |

【ボランティア・市民活動分科会】

| 月日 | 議 題 | 結果 | 人数 |
|-----------|---|-------------|-----|
| 5月27日(月) | ○令和元年度 区社協事業計画について ○分科会年間計画について ○次期各種員会委員の選任について ○情報交換 | 全て承認 された | 17名 |
| 8月26日(月) | ○第3期にこまちプランふりかえり意見交換 ○勉強会企画について ○情報交換 | | 17名 |
| 10月28日(月) | ○ミニ学習会「救急法入門」 ○区民まつり出店について ○新年のつどいについて ○情報提供 | | 18名 |
| 1月20日(月) | ○新年のつどい ○連絡事項 | | 4名 |
| 3月2日(月) | *新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 | | — |
| | | | |

| 月日・場所 | 内容 | 人数 |
|------------------|-----------|----|
| 11月3日(日) 戸部公園 | 区民まつりへの参加 | 2名 |

② 委員会

【社会福祉功労者表彰審査会】

| 月日 | 議 題 | 結果 | 人数 |
|-----------|---------------------------|-------------|----|
| 11月19日(火) | ○第36回西区社会福祉功労者被推薦者の審査について | 全て承認 された | 7名 |

【助成金等審査委員会】

| 月日 | 議 題 | 結 果 | 人 数 |
|-----------|---|-------------|-----|
| 5月29日(水) | ○平成30年度西区社協ふれあい助成金配分結果について ○令和元年度西区社協ふれあい助成金交付審査について | 全て承認 された | 6名 |
| 11月21日(木) | ○令和元年度年末たすけあい助成金の審査について ○令和元年度年末たすけあい募金地区社協助成金について | | 7名 |

【にこまち助成金審査委員会】

| 月日 | 議 題 | 結 果 | 人 数 |
|-----------|--|-------------|-----|
| 6月27日(木) | ○前回審査委員会の報告について ○令和元年度にこまち助成金 第2回受付分の審査について ○にこまち助成金の課題検討について | 全て承認 された | 7名 |
| 10月17日(木) | ○前回審査委員会の報告について ○令和元年度にこまち助成金 第3回受付分の審査について ○にこまち助成金の制度のあり方について | | 7名 |
| 3月17日(火) | ○令和2年度にこまち助成金 第1回受付分の審査について ○過去受配団体へのアンケート結果について(報告) ○にこまち助成金の課題検討について | | 6名 |

【ボランティアセンター運営委員会】

| 月 日 | 議 題 | 結 果 | 人 数 |
|-----------|---|-------------|-----|
| 5月27日(月) | ○平成30年度ボランティアセンター事業報告について ○令和元年度ボランティアセンター事業予定について ○善意銀行配分金について ○ボランティアコーディネートについて | 全て承認 された | 8名 |
| 10月28日(月) | ○令和元年度上半期ボランティアセンター事業報告について ○下半期ボランティアセンター事業実施予定について ○善意銀行配分金について ○ボランティアコーディネート状況について | | 6名 |
| 3月2日(月) | * 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 | | — |

【評議員選任・解任委員会】

| 月 日 | 議 題 | 人 数 |
|-----------------|---------------|-------|
| 第1回 6月7日(金) | 1. 評議員の選任について | 委員 4名 |
| 第2回 3月17日(火) | 1. 評議員の選任について | 委員 4名 |

【企画委員会】

| 月 日 | 内 容 | 人 数 |
|----------|---|-------|
| 9月30日(月) | 1. 委員長及び副委員長の選出について 2. 本会の経営状況ならびに改善計画について | 委員 5名 |

※場所すべて西区福祉保健活動拠点「フクシア」です。

2 理事会・評議員会等

(1) 理事会・評議員会・監事会

① 理事会

※すべての議題等について承認、または確認されました。

| 月 日 | 議 題 | 人 数 |
|----------------------|---|--|
| 第1回 6月6日(木) | 1. 平成30年度事業報告並びに決算について 平成30年度西区福祉保健活動拠点事業報告並びに決算について 2. 監事監査報告について 3. 監事候補者の評議員会への推薦について 4. 評議員選任 解任委員会の招集 並びに本会評議員選任候補者の推薦について 5. 評議員会の招集並びに議題について | 理事10名 監事 2名 |
| 第2回 6月26日(水) | 1. 正副会長の選任について 2. 本会の顧問について | 理事10名 監事 3名 |
| 第3回 11月7日(木) | 1. 令和元年度補正予算案について 2. 企画委員会からの答申を踏まえた財政の健全化について 3. 評議員会の招集並びに議題について | 理事 9名 監事 2名 |
| 第4回 3月 (決議の省略) | 1. 新規会員加入について 2. 令和2年度事業計画案並びに予算案について 3. 評議員選任 解任委員会の招集 並びに本会評議員選任候補者の推薦について 4. 評議員会の招集並びに議題について 5. 本会の保有する個人データの開示等に関する規程の改正について | 新型コロナウィ ルス感染拡大 防止のため、 理事全員の文 書による同意 を得て決議さ れた。 |

※第1回から第3回の場所はすべて西区福祉保健活動拠点「フクシア」です。

② 評議員会

※すべての議題等について承認、または確認されました。

| 月 日 | 議 題 | 人 数 |
|----------------------|---|---|
| 第1回 6月26日(水) | 1. 平成30年度事業報告並びに決算について 平成30年度西区福祉保健活動拠点事業報告並びに決算について 2. 監事監査報告について 3. 理事・監事の選任について | 評議員22名 監事 2名 |
| 第2回 12月4日(水) | 1. 令和元年度補正予算案について 2. 企画委員会からの答申を踏まえた財政の健全化について | 評議員22名 監事 3名 |
| 第3回 3月 (決議の省略) | 1. 令和2年度事業計画案並びに予算案について 2. 職員就業規程の一部改正について | 新型コロナウィ ルス感染拡大 防止のため、評 議員全員の文 書による同意を 得て決議され た。 |

※第1回、第2回の場所は西区福祉保健活動拠点「フクシア」です。

③ 監事会

※すべての議題等について承認、または確認されました。

| 月日・場所 | 内 容 | 人 数 |
|----------------------------------|--|-------|
| 5月27日(月) 西区福祉保健活動 拠点「フクシア」 | 1 平成30年度事業報告・決算(案)について 2 監事候補者の推薦について | 監事 2名 |

3 適切な法人運営

(1) 個人情報の適切な管理

「個人情報保護法」と区社協「個人情報の保護に関する規程」に則り、適切な個人情報の管理を行いました。

(2) 情報公開

「社会福祉法」及び本会「情報公開に関する規程」に則り、適切な情報公開を行いました。

H31(R元) 情報公開請求 0件

(3) 苦情受付 受付件数 0件

4 区社協活動財源の確保

(1) 区社協事業の見直し

持続可能な組織運営と財政の健全化に向け、収入に見合った事業の見直しを行うとともに、事業費・事務費の経費削減の徹底を図りました。

(2) 区社協活動財源の確保

会費・共同募金・年末たすけあい募金等の自主財源確保に努めるとともに、善意銀行の機能や働きを西区広報9月号ピックスで周知し、地域の福祉活動を支援する財源確保に努めました。

5 事務局運営

(1) 事務局運営

① 職員の資質向上

人材育成計画に基づき、法人内研修の他、外部機関が実施する研修等へ積極的に参加し、能力開発・資質の向上に努めました。

② 事務局会議・窓口職員会議の開催

担当業務進行状況や業務上の課題等を職員全体で共有・検討し、区社協機能の向上につなげるため、常勤職員会議を毎月2回、非常勤職員を含めたに窓口職員を対象とした会議(兼研修会)を毎月1回実施しました。

6 社会福祉充実計画

平成29年度に発生した社会福祉充実残高により、法令に基づき社会福祉充実計画を策定し、次の事業を実施しました。

(1) 社会福祉功労者表彰

区内で地域福祉活動やボランティア活動、福祉施設や事業所等で勤務する職員(常勤及び非常勤職員)で功労のあった方に対し、表彰を行いました。

| 月日・場所 | 内容 | 人数 |
|---------------------------------|---|---|
| 2月8日(土) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」 | 受賞者 ・地域福祉活動功労者 44名 ・永年勤続者(常勤) 15名 ・永年勤続者(非常勤) 16名 セレモニー 「フクシア祝祭アンサンブル」 交流会 | (受賞者) 74名 (当日出席) 66名 推薦者等含む |



(2)社会福祉施設を対象とした研修及び連絡会議の開催(再掲)

社会福祉施設・事業所向けに必要とされる研修の開催

日にち: 3月19日(木)

場 所: 西区福祉保健活動拠点「フクシア」

内 容: <第1部:連絡会> 社会福祉施設の地域貢献についての情報交換

<第2部:研修会> テーマ:「パワーハラスメント対策について」

講 師: かながわ労働センター

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

X I 福祉関係団体への運営協力・支援

次の福祉関係団体と連携及びサポートを行いました。

| | |
|------------------|------------------|
| 神奈川県共同募金会横浜市西区支会 | 日本赤十字社横浜市西区地区委員会 |
| 西保護司会 | 西区更生保護女性会 |
| 西区遺族会 | |